

研修会のご案内

フォレンジック看護の立場で

包括的性教育の実現に向けて できることを考えよう

①基礎編 ②実践編

性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないためという目的で始まった生命の安全教育に、JAFN会員で実際に携わっている方はまだ少ないのではないのでしょうか？

世界では、ユネスコ等によって開発された「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」という指針に則り、5歳から段的に行う包括的性教育がスタンダードになってきております。

フォレンジック看護に携わる私たちが包括的性教育を学ぶことで、できることがあるのではないかと考え、包括的性教育とは何かを知る①基礎編、そして実践をイメージできる②実践編の2本立てで企画しました。

①基礎編の講師は、「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の翻訳にも携わられた埼玉大学教育学部教授の田代美江子氏をお招きし、包括的性教育とはどのような教育なのか、目指すべきものは何かなど、包括的性教育の概論についてご講演いただきます。

②実践編では、①の基礎編を受けて、包括的性教育をすでに実践しているJAFN会員の報告を聞き、フォレンジック看護に携わる立場としてできることを考える研修会です。

日時：① 基礎編：2026年3月10日(火)18:00～19:30

② 実践編：2026年3月17日(火)18:00～19:30

開催方法：①②ともにZOOM

(研修会前日までに、申し込み時にご記入のメールアドレスにZoom URLを送付いたします)

対象・参加費：日本フォレンジック看護学会(JAFN) 会員限定・無料

講師：① 基礎編 田代美江子氏

埼玉大学教育学部教授・副学長(ダイバーシティ推進担当)

講師紹介:専門はジェンダー教育学、近現代日本の性教育史、ジェンダー・セクシュアリティ平等と教育。著書に『実践包括的性教育』(共著、エイデル研究所)、『教科書にみる世界の性教育』(共著、かもがわ出版)、『ハタチまでに知っておきたい性のこと』(共著、大月書店)など。2022/06 - 現在、埼玉県性の多様性に関する施策推進会議(委員長)、2013/10 - 現在、さいたま市男女共同参画推進協議会委員(2015より会長職)

申込み方法：右記QRコードより、会員番号、氏名、メールアドレス、参加日、活動地域(在住都道府県)、免許(例:保健師、助産師、看護師等)・専門領域(例:母性、精神等)をお知らせください。



当日緊急連絡先： 教育推進委員長・舩山 メール/funayama@niigata-cn.ac.jp

電話/025-526-3109(舩山研究室直通)

教育推進委員会より：JAFN会員の皆様の知識と経験を生かして、子どもの健康と権利を守るための教育に貢献できるのでないかと感じております。共に学び・考える機会にしませんか？ ご参加、お待ちしております。